



かりがね



【目指す学校像】
活力が満ち、
さわやかで
心なごむ学校

生徒数 145 名 (1 年生 49 名 2 年生 47 名 3 年生 49 名)

令和 8 年 6 月 1 日

『体育祭を終えて』

校 長 武 井 理

今年は5月に真夏日を記録するなど、例年以上の暑い日が続きました。そのような厳しい暑さの中で、生徒たちは目前に迫った体育祭に向けて、熱心に練習に取り組んでいた姿が心に残ります。全員リレーの練習では、グラウンドに「頑張れ！」という互いを鼓舞する声が響き渡っていました。ひたむきにバトンをつなぐ姿、そして仲間を必死に応援する姿を見て、胸が熱くなると同時に、大変嬉しく思いました。

さて、今年度の体育祭全体の全体スローガンは、『最後まで楽しめ！最後まで笑え！全員が活躍！唯一無二の芳野の体育祭』でした。今年の体育祭スローガンも本当に素晴らしいと感じました。私は、この言葉にある「全員が活躍」というフレーズに、芳野中生の強い絆を感じました。

体育祭当日、「芳野中学校は本当にいい学校だな」と改めて感じる事ができました。生徒一人一人の本気の取組、そして生き生きとした表情や弾けるような笑顔をたくさん見ることができて、我々教職員にとっても最高の一日になりました。全員が本当によく頑張りましたが、特にリーダーとして団やクラスを力強く引っ張ってくれた体育委員の皆さんには感謝を伝えたいです。3年生は団の中心となり、あらゆる場面で後輩をリードしてくれました。競技で見せてくれた力強さやスピード感は、まさに「さすが3年生」と感じるものばかりで、1・2年生の見事なお手本となりました。1・2年生も、実によく頑張りました。今、1・2年生の胸には、「自分たちが最上級生になったとき、先輩たちのような体育祭を作りたい」という強い思いが芽生えたのではないかと思います。この体育祭の準備から運営に関わってくれた、生徒の皆さん一人一人に心から感謝します。まさに、全員で作上げた唯一無二の体育祭でした。保護者の皆様には暑い中、最後まで子どもたちの輝く姿を見届け、温かい声援を送ってくださいますと誠にありがとうございました。

6月に入ると、運動部に所属する3年生の皆さんにとって集大成となる、学校総合体育大会予選会が幕を開けます。新人大会の時には「失うものは何もない、思い切ってプレーしてほしい」と生徒の皆さんに伝えました。しかし、厳しい練習を積み重ね、心身ともに大きく成長した今の生徒たちに望むのは、「絶対に悔いの残らない大会にしてほしい」ということです。一瞬一瞬に全力を尽くし、生涯心に残り続ける最高の大会にしてほしいです。保護者の皆さまにおかれましては、今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。